

黒河山林木遺伝資源保存林



黒河山林木遺伝資源保存林は、福井県敦賀市の滋賀県との県境に位置する黒河山国有林内にあります。天然のブナ、スギ、ミズナラ、イヌシデなどの遺伝資源を保存するために保護しています。

この保護林の面積は93.05haで、水源かん養保安林や特別母樹林などにも指定されています。

県境には登山道（高島トレイル）が整備されています。高島トレイル沿いには三国山(876.3m)、乗鞍岳(866.0m)、赤坂山(823.8m)などがあり、休日には多くの登山者が訪れます。



ブナ林内に天然のスギが生育



林床に咲くナツエビネ

【黒河山林木遺伝資源保存林に生息・生育する動植物】

◎植物：ブナ、スギ、ミズナラ、コハウチワカエデ、タンナサワフタギ、ウスギヨウラク、トクワカソウ、オオバクスミシ、エビネ類など

◎動物：ツキノワグマ、ニホンジカ、アオゲラ、オオルリ、ヤマガラなど

【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲・採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。
- ★ツキノワグマ生息域です！熊鈴をつけるなど、装備は万全にしてください。

【黒河山林木遺伝資源保存林へのアクセス】

◎福井県敦賀市から…県道211号線を南下し黒河林道へ。福井県と滋賀県の県境にトイレ、駐車スペースあり。

◎滋賀県マキノ町から…県道287号線でマキノ町役場前を通過し、白谷で県道533号線へ。

途中左手にマキノ林道への入口があり、マキノ林道を北上して福井県と滋賀県の県境へ。

